

(様式1)

# 個別施策評価調書

主管部	教育局	
関係部	-	-
	-	-

基本施策	I-2 教育日本一を目指し教育内容を充実する
個別施策	① 小中一貫教育の充実
個別施策の方向	広い視野を持って自ら学び、自ら考え、判断して行動できるグローバルな人材育成のため、幼・保・小連携、小中一貫教育をとおり、「生きる力」＝知・徳・体のバランスのとれた力を育成する。

決算及び事業費内訳 (単位：千円)											
H27年度	決算	事業費	10,686	人件費	23,648	事業コスト	34,334				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	10,686
H28年度	決算	事業費	8,740	人件費	23,580	事業コスト	32,320				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	8,740
H29年度	決算	事業費	9,369	人件費	22,681	事業コスト	32,050				
	事業費内訳	国庫支出金	0	県支出金	0	地方債	0	その他特財	0	一般財源	10,196

市民満足度 (市民意識調査)	H27年度	H29年度	前回比
つくば市の現状やまちづくりへの取組について	34.1%	39.0%	4.9%
12) 小中一貫教育の充実			

平成28年度つくば市行政経営懇談会 評価結果		
総合評価	B	施策の成果が一部確認でき、今後更に推進させるべきである。
提言	小中一貫教育については、つくば市特有の教育として具体手な効果も含め広く一般市民に理解してもらうようPRを行うとともに、継続的に事業展開を図られたい。	

取組概要	<p>○小中一貫教育については、各学校・学園でさまざまな取組を実施し、ホームページや授業参観等で周知をした。また、桜学園、桜並木学園、豊里学園、高崎学園の4校を研究指定学園として、研究発表会を実施した。</p> <p>○小中一貫教育に関し、総合教育研究所主催の研修を実施した。</p> <p>○幼保小連携については、幼稚園児や保育所児童が小学校の運動会へ参加したり、合同で花壇の整備をしたりした。</p> <p>○豊かな心育成事業については、芸術鑑賞会を実施した。</p>
成果	<p>○各学校・学園における小中一貫教育の取組についてホームページや授業参観等で広く周知したことにより、年々小中一貫教育への理解が深まっている。さらに、桜学園、桜並木学園、豊里学園、高崎学園の4校を研究指定学園として、地域の方々に向けた研究発表会を開催したことで、各学園の取組について周知することができた。</p> <p>○総合教育研究所主催の研修を25回実施し、約1,200人の教職員が参加した。</p> <p>○「つくばの教育概要2017」（700部）を発行した。</p> <p>○教育広報「つくばの学び舎」を発行した。</p>
今後の課題	<p>○小中一貫教育について、保護者や地域住民等への更なるPRが必要である。</p> <p>○幼保小連携については、隣接・近接した位置の幼稚園・保育所との連携は容易であるが、遠くの幼稚園・保育所との連携が課題である。</p>
改善目標	<p>○保護者や地域住民等に小中一貫教育への理解を深めるための機会を更に増やす。</p> <p>○小学校と遠い幼稚園・保育所との連携を図るための交通手段を確保する。</p>

#### 自己評価（所管部署評価）

自己評価記述	<p>○学園単位での芸術鑑賞により、児童生徒の情操を深め、豊かな人間性の育成に寄与することができた。</p> <p>○幼保小連携教育推進事業により、幼稚園児、保育所児童の発達や学びを就学後につなげることができた。</p> <p>○教育広報「つくばの学び舎」の発行により、保護者・教職員の教育行政に対する理解・認識を深めるとともに、住民全体の教育に対する関心を高めることができた。</p>
--------	---